

～古賀院長エッセイ～

次代への風



「収穫の月」

10月は私の一番好きな月です。それぞれの月にはテーマがありますが、10月は収穫の月ですね。1月から今年目標を立てて少しずつ進み、育て、今年の実りが味わえる季節です。これまで怠けていれば実りは少なく、残念な月にもなりかねません。10月の清々しい空気を味わうために、今年も日々をしっかりと送ってきたつもりですが、どうでしょうか。

ここ森の木の土地にめぐり合ったのも10月です。浦上水源地が秋晴れの下にきらめいていて、明るい未来を予感させてくれました。来年には平成から新たな元号に移り新時代が始まります。森の木は開院から27周年の年を歩んでいますが、次世代に向けた準備を少しずつ進める時期となっています。時代が変わっていきませんが、求められ医療が次世代も続けられるようにサポートしていきたいと思っています。



院長語録

毎朝の朝礼での一訓をご紹介します。

* 事の変化には必ず何かしらの要因あり。

病気もしかり、悪化に至るには原因が存在する。

観察を怠らないように。

* 忘れ物の多い人は準備と確認が同時、それも一回限り。

準備と確認を繰り返す事でミスも少なくできる。

「実行」を重ねる事で「結果」が生まれる。